

KYOTO
NATIONAL
MUSEUM
2015 January to March vol.185

京都国立博物館

だより

二〇一五年
一・二・三月号

新春特別展観

山陰の古刹・

島根鰐淵寺の名宝

特集陳列

雛まつりと人形

特別展観

天野山金剛寺の名宝

新春特別展観



山陰の古刹・ 島根鰐淵寺の名宝

平成27年1月2日(金)～2月15日(日)

【平成知新館 特別展示室〈1F-2〉】

二〇一二年、京都国立博物館では古事記一三〇〇年・出雲大社大遷宮を記念した特別展覧会「大出雲展」を開催いたしました。出雲地方というところでも出雲大社や出雲神話に代表される神道の土地、というイメージが先行しますが、古代・中世の出雲地方における精神文化を紐解くため、神仏習合の観点から神道美術のみならず仏教美術までも視野に入れ、多数の社寺のご協力と、島根県および島根県立古代出雲歴史博物館の全面的な協力を得た展覧会として、多くの来館者をお迎えいたしました。

出雲＝神話の地という先入観を打ち破る契機となった「大出雲展」ですが、山陰地方における仏教文化はまだまだ奥深く、その全貌を紹介しきれれてはいません。よって、これらをさらに掘り下げるため、「島根鰐淵寺の名宝」展を開催いたします。

島根県の天台寺院・浮浪山鰐淵寺は、後白河法皇の撰により平安時代末に成立した『梁塵秘抄』にも「聖の住所はどこどこぞ、箕面よ勝尾よ、播磨なる書写の山、出雲の鰐淵や、日の御碕、南は熊野の那智とかや」と謡われ、当時から名高い聖地・霊山の一つとしてみやこの人々にも認識されていた古刹です。

持統六年(六九二)に製作されたとされる「壬辰年五月出雲国若倭部／臣徳太理為父母作奉菩薩」銘のある観音菩薩立像(重要文化財)が伝来し、また、寺内の蔵王宝窟で発見された九世紀に遡りうる錫杖頭か



千手観音坐像 鰐淵寺



山王七社本地懸仏 鰐淵寺



重要美術品 不動明王像 鰐淵寺



平成知新館
名品ギャラリー

※マークは新春特集展示です。

3F-1 陶磁

【京焼】

1月2日(金)～3月8日(日)

【中国陶磁】

3月17日(火)～

*3月9日～16日まで、展示室調整のため、閉室いたします。

3F-2 考古

【古墳時代の銅鏡】

1月2日(金)～4月19日(日)

2F-1 特別展示室／絵巻

【室町絵巻】

1月2日(金)～2月8日(日)

絵巻物は平安、鎌倉時代に最も優れた作品が生み出され、室町時代には衰微したとみなされてきましたが、室町時代には絵巻の制作者と共に享受層も広範化し、上層から庶民階級にわたって広く愛好されました。融通念仏縁起は足利将軍が主体となって繰り返し制作された室町時代前半を代表する絵巻です。是害坊絵巻は僧侶が低年齢層のために描いたもので、日高川草紙は道成寺縁起を恋愛譚に発展させたものですが、共に私たちの生活世界の向こう側にある異界を生き生きと描く絵巻です。

【物語絵巻の世界】

2月10日(火)～3月15日(日)

【室町時代の社寺縁起絵】

3月17日(火)～4月12日(日)

2F-2 仏画

【垂迹画―日本の神々の世界―】



重要文化財 融通念仏縁起 上巻(部分) 土佐光信筆 禅林寺 (1/2～2/8展示)

ら、平安時代の早い段階で修行場としての原形が成立したと考えられる鰐淵寺ですが、その名前が記録にあらわれるのは鎌倉時代・建暦三年（一一一三）の「無動寺檢校政所下文」からです。この文書により、後鳥羽上皇の命により出雲の国司が鰐淵寺に対して国富郷内に100町の所領を認めたと同時に、これを比叡山ひびしやま無動寺の莊園とし、鰐淵寺の南院・北院が半分ずつを管理したうえで無動寺へ年貢の筵むしろを納めるよう、取り決められたことが分かります。これはすなわち鰐淵寺が無動寺の末寺として、正式に天台宗に組み込まれたことを意味し、以後、山陰地方屈指の天台の名刹として繁栄を見せたのです。

この展観では、重要文化財・島根県指定文化財を含む仏像・神像をはじめ、当館初出陳となる作品を展示いたします。これら鰐淵寺に伝わった様々な作品を通して、天台仏教が山陰地方に及ぼした影響と、みやこととの繋がりを中心に、「大出雲展」では紹介しきれなかった鰐淵寺の魅力をご紹介します。（末兼俊彦）



女神坐像 鰐淵寺



牛頭天王坐像 鰐淵寺



重要文化財 観音菩薩立像 鰐淵寺



特集陳列

雛まつりと人形

1月2日(金)～2月8日(日)
【仏涅槃図】2月10日(火)～3月15日(日)

釈迦は旧暦二月十五日に涅槃に入ったとされ、二月十五日もしくは新暦で調整した三月十五日に涅槃会が行われます。その際に懸けられるのが、仏涅槃図です。大きな作品が多く、中には堂内に懸けられないほど巨大なものがあり、なぜ涅槃図にかほどの大きさが必要とされたかは、実は悩ましい問題です。最近では、パッチャリアリテイというか、見る人に自分もその場にいるような共感を持たせるためではないかと想像しています。鎌倉時代には、中国の新しい様式を取り入れた作品が増えますが、これもその写実的な描写で臨場感を高めるためだったのでしょう。仏教の祖である釈迦は宗派を越えて尊信される存在であり、それが涅槃会を日本人に親しませるものとしたのでしょうか。

【彼岸と浄土】
 3月17日(火)～4月12日(日)

2F-3 中世絵画

【描かれた動物たち】

1月2日(金)～2月8日(日)

【扇絵】

2月10日(火)～3月15日(日)

【瀟湘八景図】

3月17日(火)～4月12日(日)

2F-4 近世絵画

【近世の障壁画（桃山～江戸時代）】

1月2日(金)～2月8日(日)

【近世の障壁画（江戸時代中期）】

2月10日(火)～3月15日(日)

城郭や大寺院等の大規模建築が相次いだ江戸時代初期に、障壁画はその黄金期を迎えましたが、その後も江戸時代を通じて優れた作品が次々に生み出されていきました。有力寺院等での揮毫は画家のステータスにも大きく関わる重要な仕事であり、それゆえに画家たちはとりわけ力を込めてこの仕事に取り組んだのです。時代が下がるとにつれ、絢爛豪華さよりも瀟洒で洗練されたスタイルが好まれ、町人出身の絵師が多く





有職立雛 京都国立博物館



御殿飾り雛 京都国立博物館 (木村進一氏寄贈)



賀茂人形 雀踊り 京都国立博物館

平成27年2月21日(土)～4月7日(火)
【平成知新館 特別展示室 (1F-2)】

緋毛氈ひもうせんにならべられたお内裏さまとお雛さま。子どもの姿を写した嵯峨人形や御所人形。小さいながらも素朴な明るさに満ちた賀茂人形。京都国立博物館に春の訪れをつげる、雛人形をはじめとするさまざまな京人形の展示が、六年ぶりに戻ってきました。

雛まつりは古くから行われているように思われがちですが、人形を飾ってこの日を祝うようになったのは、江戸時代の初めとされています。雛まつりの起源は上巳じょうしの節供という、三月のはじめに行われる禊けがの行事です。人形は、人間の形代かたしろとして穢けがれを引き受け水に流されていましたが、江戸時代には飾るための豪華な人形へと変化していきました。

当時の雛人形には、その時代の元号を冠して呼ばれる寛永雛・享保雛や、考案した人形師の名を付けたという次郎左衛門雛、江戸で誕生した古今雛、公家の装束を正しく写した有職雛などがあります。各種の雛人形が勢ぞろいする展示では、面差し、手の動き、装束など、それぞれに異なる細部に注目して、雛人形の変遷をご覧ください。

雛段飾りも、現代では見られなくなった関西風の御殿飾り雛を中心に展示します。とりわけ本年は、新たに寄贈いただいた天保十五年(一八四四)に初節供を迎えた女子のために誂あやえられた御殿飾り雛のお披露目をします。

京都国立博物館ならではの雛まつりを、ご家族のみなさんでお楽しみください。(山川 暁)

町人出身の絵師が多く輩出した江戸時代中期には個性豊かで多彩な障壁画の世界が開かれます。

【遊楽図―逸名の画人たち】
3月17日(火)～4月12日(日)

2F-5 中国絵画

【華麗なる中国の花鳥画】
1月2日(金)～2月8日(日)

さまざまな花や鳥の姿態を描いた花鳥画は、山水画とならんで中国絵画を代表する画題です。深い精神性をたたえ、枯淡な味わいをもつ山水画にくらべて、梅や桃、牡丹、菊などの花や、鶴や小綬せう鶏などの鳥たちを彩る艶やかさは観る者を魅了します。この展示室では、明時代の優品から清時代に日本を訪れた来舶らいぱく画人の作まで、着色や淡彩の花鳥画を集めて展示いたします。お正月にあわせて、華やかな中国花鳥画の世界をお楽しみください。



双鶴図 達仙筆
京都国立博物館
(1/2～2/8 展示)



群鶏図 (旧海宝寺障壁画)
伊藤若冲筆
京都国立博物館
(2/10～3/15 展示)

1F-1 彫刻

【日本の彫刻・密教の彫刻】
1月2日(金)～4月12日(日)

【天野山金剛寺の名宝】
3月4日(水)～3月29日(日)

1F-2 特別展示室

【山陰の古刹・島根鰐淵寺の名宝】
1月2日(金)～2月15日(日)

【雛まつりと人形】
2月21日(土)～4月7日(火)

1F-3 書跡

【墨蹟】1月2日(金)～2月1日(日)

特別展観

天野山金剛寺の名宝

平成27年3月4日(水)～3月29日(日)

〔平成知新館 1F-1、3、5〕

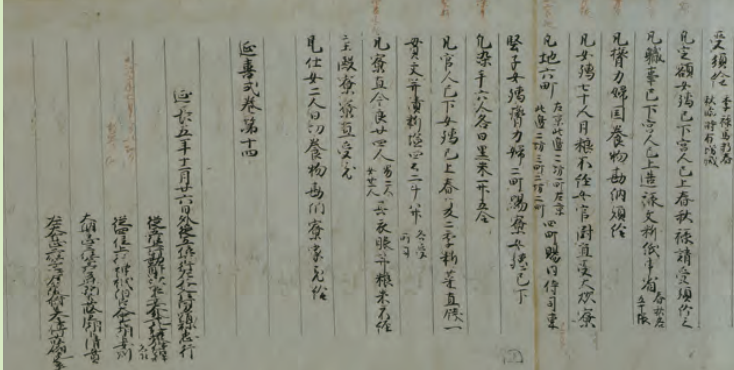
河内長野市天野町の金剛寺に所蔵されている「木造大日如来坐像」一軀(重要文化財)と、「木造不動明王坐像」一軀(重要文化財)が、当館の文化財保存修理所において修理され、平成知新館に展示されています。そこで、この機会に河内地方の文化財の宝庫でもある金剛寺に伝わる名宝の数々を紹介いたします。

金剛寺は、山号を天野山といい、もと行基の創建と伝える名刹です。平安時代後期に阿観あかん(一一三六～一二〇七)が再興し、鳥羽院の第三皇女八条院障子(一一三七～一二二二)の祈願所にもなっています。その後、南北朝時代(一一三三～一二二二)には八条院の所領が南朝方の大覚寺統の所領となり、金剛寺食堂が南朝の後村上天皇(一一二八～一六八)の行在所(臨時の天皇の居所)となったことは、寺の歴史や文化財を考える上で大変重要な出来事となりました。

文化財に関しては、平安時代初期の律令の施行細則を記した『延喜式』全五十巻のうち、巻第九(神名帳)の一卷と巻第十二、第十四、第十六の三巻、合わせて四巻が国宝に指定され、更に剣一口も国宝に指定されています。その他に、典籍・絵画・甲冑類などの優品をはじめ、近年の調査によって国文学・漢文学関係の重要な資料が相次いで紹介されていることから、その成果の一端も紹介したいと思います。(赤尾栄慶)



重要文化財 日月山水図屏風 金剛寺



国宝 延喜式 卷第十四 部分 金剛寺



羯鼓 金剛寺

「墨蹟」とは僧侶、とくに禅僧の記した筆跡のことをいいます。その種類は、内容によって印可状、あるいは法語や遺偈など、多岐にわたります。いずれもが禅の歴史や思想を知るうえで、欠かすことのできない重要な文化財です。これらを造形的な「書」としてみると、「古筆」のような優美さや繊細さとは異なる、重厚さ、鋭さを備えているのが大きな特徴といえるでしょう。どうぞ、墨にこめられた「力」を存分に味わってください。

【奈良朝写経】

2月3日(火)～3月1日(日)

【天野山金剛寺の名宝】

3月4日(水)～3月29日(日)

1F-4 染織

【染織の文様 吉祥】

1月2日(金)～2月8日(日)

【子どもの衣裳】

2月11日(水)～3月22日(日)

【絞り染】

3月25日(水)～4月26日(日)

1F-5 金工

【永藤一コレクション】

平成26年11月18日(火)～3月1日(日)

*次の期間で展示替を行います。

11月18日～1月12日 / 1月14日～3月1日

【天野山金剛寺の名宝】

3月4日(水)～3月29日(日)

1F-6 漆工

【南蛮漆器と紅毛漆器】

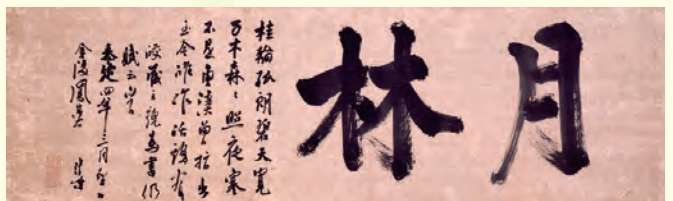
平成26年11月26日(水)～1月12日(月・祝)

【江戸時代の蒔絵】

1月14日(水)～2月22日(日)

【化粧道具】

2月24日(火)～4月19日(日)



国宝 古林清茂墨跡「月林」道号 長福寺 (1/2～2/1 展示)

特別展覧会

桃山時代の狩野派

— 永徳の後継者たち —

平成27年4月7日(火)～5月17日(日)

二〇一五年は大坂の陣から四〇〇年にあたります。豊臣から徳川へと天下の趨勢が一変したこの出来事の前夜、武士はもとより、絵師もまた熾烈極まる生き残りをかけた戦略を繰り広げました。とくに権力者と密接に関わってきた狩野派にとつて、この時期は棟梁・永徳の死やライバル・長谷川等伯の台頭、来るべき新時代の覇者の見極めなど、一門にとつて最も苦しく、また難しい判断を下さねばならない激動の時代でした。

本展は、狩野派史上最大のピンチにおちいった慶長年間前後に着目し、永徳没後、「豪壮」から「華麗」へ、さらに新たな為政者・徳川家に対応すべく、「瀟洒淡麗」へと画風を変えていく一大転換の過程を、永徳の後継者たちの作品を一堂にして辿るものです。また、この「桃山後期」に焦点をあてた狩野派の展覧会としては、過去最大規模となる、国宝1件、重要文化財23件、重要美術品1件を含む69件を出品し、百花繚乱のごとくその才能を花開かせた狩野派絵師たちの競演と戦いの歴史をご紹介します。

(山本英男)



屏風 宗秀筆 相国寺



重要文化財 豊国祭礼図屏風 内膳筆 左隻 豊国神社 (5/7～5/17展示)

よみもの

「国宝 鳥獣戯画と高山寺」を観て

学習院大学文学部教授
佐野みどり

本展は、「鳥獣人物戯画」全四巻の修復完成を機とした三十三年ぶりの高山寺展である。四年にわたった修理によって、美しく整えられた「鳥獣戯画」の面白さを味わい堪能したい、修理の過程で判明したという新知見をこの目で確認したいという思いを胸一杯にして博物館に向かった。本館に入場するまで一時間、ようやく第一展示室に辿り着いて、すでにこの展示室にまでも「鳥獣戯画」観覧の行列ができてきているという混雑ぶりに、少々心が沈む一方で、嬉しい驚きもあった。本展は高山寺展でもあるのだ。

高山寺に伝来する数々の名宝が、Ⅰ高山寺の開創、Ⅱ明恵上人、Ⅲ高山寺の典籍、Ⅳ鳥獣人物戯画という区分で展示され、高山寺と中興の祖明恵上人をくつきりと輪郭づけている。「高山寺絵図」「神護寺絵図」は、神護寺から高山寺まで歩いたことのある者にとつて、寺領の境界を明らかにするという両図の機能とはべつに、惹きつけられる絵図ではないが、著者にとつては初見で、今回特に興味深いものの一つであった。経書を誦すことに穴をふさいでいくという。そして、明恵上人の賛文が書き込まれている「仏眼仏母像」。さらに、蘇婆石・鷹島石という明恵上人ゆかりの小石。明恵上人が日々手にされたであろう品々が、明恵上人の存在を強く印象づける展示である。また、「神鹿」や「子犬」といった見事な動物彫刻や「華嚴宗祖師絵伝絵巻」も鎌倉時代の優品である。

さて、入場してすぐ左手に、日本の肖像画のなかでもっとも魅力的な作例のひとつである「明恵上人樹上坐禪図」が、空間をたっぷりとつて展示されている。ケース内の照明は、幹や岩肌を描き出す柔らかい線描、しなやかな葉の描写、強靱で精緻な面貌表現などをはっきりと見せてくれる。だが小鳥や栗鼠の姿を捜し出すには、この絵は大きくすぎた(特に栗鼠はかなり上部に位置している)難しかったようだ。説明書を読み、「小鳥と栗鼠がいるそうだけど、何処かしら」との呟きがかなり聞こえた。栗鼠や小鳥たちの部分拡大の図版を大きく掲示するか、矢印などで位置を示したトレース図を横に置くか、もう少し解説補助があると、「いるそうだ」だけではなく「あ、あそこにあった!」という歓びの声が増えたであろう。今回の展示キャプションは、いずれも必要十分な情報を簡潔に示したものであったが、総体的にみて、文字情報は抑制気味であったと思う。

高山寺での華嚴興隆の歩みや明恵上人の〈人と思想〉を彷彿させるこれら寺宝の数々



牡丹図襖 孝信筆 仁和寺



国宝 花下遊楽図屏風 長信筆 左隻 東京国立博物館 (4/28～5/17 展示)



唐獅子図屏風 山楽筆 本法寺



重要文化財 四季花木図襖 光信筆 園城寺

【観覧料】
 一般 1500円 (1300円)
 大学生 1200円 (1000円)
 高校生 900円 (700円)
 中学生以下無料
 * (一) 内の料金は前売りおよび団体20名以上

柳図屏

は、本展が高山寺展でもあることを雄弁に物語る。まことに見応えのある展示であった。だが観覧者の殆どが、これらの寺宝を鑑賞できず、ひたすら「鳥獣戯画」のケースまで牛歩の行列に並ぶという苦行を強いられていた。第二室以降、行列は展示室の中央で九十九折りとなり、いったん行列に並ぶと離脱はできない。行列するかケース内を見るか、二者択一なのである。巷では二時間待った、いや三時間待ったと噂が飛び交っている。「鳥獣戯画」は、興福寺の「阿修羅像」に負けず劣らず、知名度も親しみも抜群の作品である。とりわけ今回は修復が完了した記念展でもあり、丙巻がもと両面に描かれていたことや、甲巻の料紙が途中で異なっていることなど、新知見も多く、話題性も高い。この国民的アイドル「鳥獣戯画」を見たいと多くの観覧者が集まっている。では、展示会場の設営はそれに対応できているだろうか。会場の制約もあり、ファーストパスのような仕組みも取りにくいことは理解できるが、今回の展示が素晴らしかったが故に、残念に思われる。

キャンパスメンバーズのご紹介

平成26年10月現在のキャンパスメンバーズ会員校は次の通りです。

- 大阪大学
- 大谷大学 (短期大学部含む)
- 学校法人 関西大学
- 京都大学
- 京都外国語大学 (短期大学部含む)
- 京都教育大学 (高校含む)
- 京都工芸繊維大学
- 京都嵯峨芸術大学 (短期大学部含む)
- 学校法人 京都産業大学
- 京都市立芸術大学
- 京都女子大学 (短期大学部、高校含む)
- 京都精華大学
- 京都造形芸術大学 (通信教育部含む)
- 京都橘大学 (通信教育部含む)
- 京都府立大学
- 京都文教大学 (短期大学部含む)
- 近畿大学 文芸学部 総合文化研究科
- 就実大学 人文科学部
- 成安造形大学
- 帝塚山大学
- 学校法人 同志社
- 奈良教育大学
- 奈良女子大学
- 奈良先端科学技術大学院大学
- 奈良大学 (通信教育部含む)
- 花園大学
- 佛教大学 (通信教育部含む)
- 立命館大学
- 龍谷大学 (以上、50音順)

土曜講座

1月10日「古墳時代の銅鏡」

京都国立博物館企画室長 宮川禎一

1月17日「室町絵巻のイメージ—日高川草紙を中心に—」

京都国立博物館研究員 鬼原俊枝

1月24日「禅僧の書—墨蹟—」

京都国立博物館主任研究員 羽田 聡

1月31日「中世出雲国 鰐淵寺の歴史」*

島根県立古代出雲歴史博物館専門学芸員 佐伯徳哉氏

2月 7日「鰐淵寺と天台の密教法具」*

京都国立博物館研究員 末兼俊彦

2月14日「仏涅槃図の世界」

京都国立博物館主任研究員 大原嘉豊

2月21日「中国の吉祥絵画—音と形から読み解く—」

京都国立博物館研究員 呉 孟晋

2月28日「人形コレクションの近代—守る人・蒐める人—」**

京都国立博物館教育室長 山川 暁

3月 7日「近世の障壁画—「場」を飾るということ—」

京都国立博物館研究員 福士雄也

3月14日「金剛寺学術調査の成果について」***

京都国立博物館上席研究員 赤尾栄慶

3月21日「『日月山水図屏風』の基層」***

静岡県立美術館学芸部長 泉 万里氏

3月28日「開山堂に納められた高麗青磁」

京都国立博物館研究員 降矢哲男

*…「島根鰐淵寺の名宝」関連講座 **…「雛まつりと人形」関連講座

***…「天野山金剛寺の名宝」関連講座

※平成知新館 講堂にて開催午後1時30分～3時に開催。定員200名 聴講無料(ただし観覧券等が必要)。

※当日12時より、平成知新館1Fにて整理券を配布いたします。先着順、定員になり次第終了。

イベント

《博物館でお正月》

🍡 新春福袋

1月2日(金)・3日(土) 両日とも、先着100名様にプレゼント!

🍡 親子で餅つき大会

1月2日(金) 午後1時30分～午後4時 場所:庭園

🍡 福引抽選会

1月3日(土) 午前11時～午後4時 場所:平成知新館 グランドロビー

《京都・らくご博物館 冬》

日 時 平成27年1月30日(金) 午後6時30分 開演

会 場 平成知新館 講堂

出 演 桂福丸 桂あさ吉 桂塩鯛 中入 桂九雀 桂福団治

入場料 3100円(全席指定・平成知新館 名品ギャラリー観覧券付)

※チケットご希望の方はお電話、またはWEBよりお申し込みください。

申し込み先:お電話/博物館事業推進係075-531-7504(月～金の10～12時・13～17時に受付 ※祝日および12/26～1/5は除く) WEB/<http://www.kyohaku.go.jp> らくご博物館【冬】申し込み画面

これからの展覧会

◆特別展覧会 桃山時代の狩野派

2015年4月7日(火)～5月17日(日)

◆特別展覧会 琳派誕生400年記念 琳派(仮称)

2015年10月10日(土)～11月23日(月・祝)

国立博物館の展覧会

【東京国立博物館】

特別展「みちのくの仏像」

2015年1月14日(水)～4月5日(日)

【奈良国立博物館】

特別陳列「おん祭と春日信仰の美術」

2014年12月9日(火)～2015年1月18日(日)

特別陳列「お水取り」

2015年2月7日(土)～3月15日(日)

【九州国立博物館】

特別展「古代日本と百済の交流—太宰府・飛鳥そして公州・扶餘—」

2015年1月1日(木・祝)～3月1日(日)

ご利用案内

【開館時間】 9:30～17:00

【観覧料】 一般 520円(410円) 大学生 260円(210円)

*高校生以下および満18歳未満、満70歳以上の方は無料です(年齢のわかるものをご提示ください)。

* () 内は団体20名以上

*特別展覧会については、別料金となります。

【休館日】 月曜日

*月曜日が祝日の場合は開館し、翌火曜日休館
年末年始(12月24日～2015年1月1日)

アクセス

JR=京都駅下車、市バスD2のりばより206・208号系統、D1のりばより100号系統にて博物館・三十三間堂下車すぐ
プリンセスラインバス京都駅八条口のりばより京都女子大学前行にて東山七条下車、徒歩1分

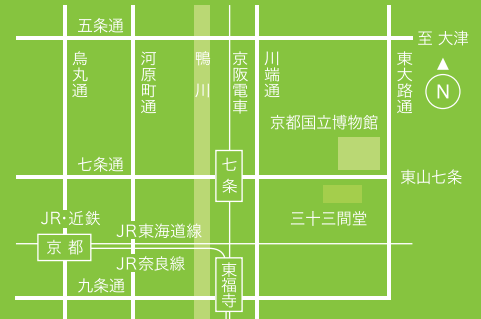
近鉄電車=丹波橋駅下車、京阪電車丹波橋駅から出町柳方面行にて七条駅下車、東へ徒歩7分

京阪電車=七条駅下車、東へ徒歩7分

阪急電車=河原町駅下車、京阪電車祇園四条駅から大阪方面行きにて七条駅下車、東へ徒歩7分

駐車場は有料となっております。ご来館の際は、なるべく公共交通機関をご利用ください。

*「博物館だより」を郵送ご希望の方は、返信用封筒(角2封筒は120円、長3封筒は92円切手貼付、宛名明記)を同封して、当館企画室までお申し込みください。



〒605-0931 京都市東山区茶屋町527

TEL. 075-525-2473 (テレホンサービス)

ホームページ <http://www.kyohaku.go.jp/>

発行日 2015年1月1日 デザイン 谷なつ子

編集・発行 京都国立博物館 印刷 株式会社 大伸社

京都国立博物館
KYOTO NATIONAL MUSEUM